



校訓：進取 敬愛 剛健

児童像 【考える子 思いやる子 たくましい子】

# 英田っ子

学校だより 7月号

平成29年6月30日

校長 藤井 恒雄

## 当たり前に感謝 ～ありがとう～

空梅雨模様の日が続いていましたが、今日は本格的な梅雨を思わせる日となりました。保護者の皆様には、ご健勝のこととお慶び申し上げます。1学期もあと1ヶ月を残すだけとなりました。6月は、町・郡市関係行事、ふれあいランチ・タイム、校区探検、社会見学そして授業参観等様々な学校行事と学習を行いました。また、PTA救命救急講習会、資源回収や土俵づくり、そして草刈りへのご参加・ご協力ありがとうございました。そうした中、子どもたちの成長を感じる場面が数多く見られました。



6月5日(月)5・6年生がプール内掃除、4年生がプールサイド除草をしてくれました。透明で美しい水が入った19日(月)には6年生と1年生でプール開きを行いました。当日、1年生の入水をしっかりとお世話をする6年生の姿に成長を感じました。またこの日、西田幾多郎記念石川県学童話し方大会では2年生平野智沙子さんが「えがおあふれるパンやさん」と題して自分の考えを立派に発表してくれました。

6月7日(水)中条小学校体育館で行われた町器械運動交歓会に4年生が参加しました。1ヶ月近く放課後練習を続けてきた跳び箱・マット、鉄棒運動の演技を堂々と披露していました。緊張した発表会やそれまでの練習を通して、それぞれ多くのことを学んだと思います。こうした経験は、必ず他の場面で生かされるものと思います。



6月21日(水)内灘町文化会館で郡市小学校音楽会、23日(金)シグナスで町小学校音楽会が開かれました。5年生45名が出場し、音楽の時間や放課後に練習を続けた合唱「スマイル・アゲイン」を発表しました。アカペラの歌い出しで始まり、清らかで心のこもった素晴らしい歌声を会場いっぱいに響かせてくれました。

他にも校区の方々による学校周りの桜の下草刈り、観光ボランティアによる町名所めぐり、森林関係の方々による苗木植え、人権擁護委員活動として花栽培など様々な活動が行われました。また昨日は、9月27日に行われるミュージカルの事前活動として、6年生が劇団の方から歌やダンスを習いました。公演当日は、一緒にミュージカルを創り上げる予定です。

27日(火)には、お世話になっている見守り隊や図書ボランティアの方々を招待して「ありがとう集会」を行いました。どの学年も感謝の心を込めて出し物を披露していました。



今日の学校集会では、この感謝の気持ちについて話しました。感謝の言葉として代表する言葉は、なんとといっても「ありがとう」です。時として、そのことが「当たり前」だと思ってしまうと、ありがとうという感謝の気持ちはなくなってしまいます。健康で生きていることさえ「当たり前」だと思ってしまうかもしれませんが、「当たり前」ではありません。世の中には、体の不自由な人や病気で苦しんでいる人もたくさんいます。今、こうして健康に生きていることも『当たり前』ではないと思います。学校で様々な活動や学習ができるのも、保護者の皆様をはじめ、地域や多くの方々のおかげです。毎日、普通に生活できることの「ありがたさ」を失って感じるのではなく、気付いていきたいものです。人が何かしてくれたときに「ありがとう」というだけでなく、普段なんでもないと思っていることや当たり前のことに気付いて、「ありがとう」といえることがたくさん増えることを願っています。これからも人の気持ちを進んで理解し、「ありがとう」をたくさん伝えていきたいと思います。

### ◇自転車用ヘルメット着用を！◇

子どもたちの自転車の乗り方を見ていますと、危険な乗り方、交通ルールを無視した乗り方が見られます。危険だと感じた場合は、注意をしたり、乗ることそのものを禁止したりすることも必要です。また、ヘルメットは万一の場合に頭部を守ってくれます。着用については学校でも指導しますが、是非声掛けをお願いいたします。(児童玄関に申込書がありますので、ご利用ください。今、申し込まれると夏休みには間に合います。)特に自転車の使用については、保護者の方々の子どもの見守る目を厳しくしていただきたいと思います。

